トイレで
未来を創る
プロジェクト

トイレで未来を創るプロジェクトが本格始動します

「トイレで未来を創るプロジェクト」が本格的にスタートしました。 現地調査を経て、支援対象となる地域と学校が正式に決定し、いよいよ現地での工事が始まります。子どもたちが安心して学べる環境を届けるため、プロジェクトを進めてまいります。

1.支援地域の現状と課題

今回のプロジェクトでは、特に衛生環境の課題が深刻な2つの地域を選定しました。

バングラデシュ (ジャマルプール県イスラムプール郡)

■深刻な貧困: 人口の50%以上が国内の貧困ライン以下（全国平均21%）。
■劣悪な学校衛生: 50%以上の学校で基準（生徒50人に1基）未達。男女別トイレがないことも。
■衛生習慣の欠如: 日常的な手洗いを実践している保護者は約32%。

インドネシア (西カリマンタン州シンタン県)

■水へのアクセス: 約4人に1人が汚染された水を日常的に利用。
■低いトイレ普及率: トイレを利用できる世帯はわずか44%。半数以上が野外排泄。
■教育機会の損失: 国内の4分の1の学校に手洗い設備がない。月経中の女子生徒は欠席せざるを得ず、教育機会格差を助長。

2. プロジェクト実施スケジュール

実施期間: 2025年11月1日 ～ 2026年3月31日 (5ヵ月間)

- 2025年11月
  現地最終確認
- 2025年11月～12月
  調達関連手続き
- 2025年12月～2026年3月
  学校におけるトイレ施設の改善（現地工事）
  施設の維持管理研修・衛生啓発活動
- 2026年 3月末
  トイレ完成予定

3. 具体的な支援対象

両国合計10校（**約2,500人**）に簡易式トイレシステム「SATO」を設置し、衛生環境改善を目指します。
現状、**生徒数300人に対し既存のトイレが1基も無い学校もあります。**

【バングラデシュ（6校1,989人）】

既存トイレ数 (合計)	17基
新設トイレ数 (見込み)	24基
1基あたり生徒数 (現在)	約117人
1基あたり生徒数 (事業後)	約49人

【インドネシア（4校547人）】

既存トイレ数 (合計)	7基
新設トイレ数 (見込み)	14基
1基あたり生徒数 (現在)	約78人
1基あたり生徒数 (事業後)	約26人

※ 既存のトイレは、本事業で修繕を施すものも含まれます。
※ 新設のトイレ数や製品は、現地最終確認の結果に基づいて最終的に決定します。

協働：LIXIL住設・タイル代理店会／国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン／株式会社LIXIL